

LESSON TRANSCRIPT

Video Culture Class: Japanese Holidays #8 Vernal Equinox Day and Higan

8

春分の日は毎年3月20日頃の祝日です。「自然をたたえ、生物をいつくしむ」という趣旨（しゅし）で、祝日に制定されました。日本では3月下旬から暖かくなり、春の訪れを感じるようになります。厳しい寒さがやっと和らぎ、木々が花をつけたり、冬眠をしていた動物たちが目覚めたりと、春分の日前後は自然の営み（いとなみ）に思いを馳（は）せる時期なのです。

春分の日の日付が、正式に決まるのはいつですか。

正解はこのビデオの最後に紹介します。

「春分」は「二十四節気（にじゅうしせつき）」の一つです。これは、太陽の通り道に従って一年を24等分し、それぞれの季節にふさわしい名前をつけたものです。太陰暦（たいいんれき）では一ヶ月が29日、または30日となり、一年が354日しかない計算になります。また、実際の月日（つきひ）と季節にずれも生じます。そこで中国では、太陽の動きに合わせた二十四節気（にじゅうしせつき）が作られ、日本にも導入されました。春の「春分」、秋の「秋分」以外にも、夏の「夏至（げし）」や冬の「冬至（とうじ）」が有名です。

秋分の日同様、多くの人がお墓参りに行きます。また、春分の日を中日（ちゅうにち）として前後3日間を含む7日間を「彼岸」と呼ぶのも、秋分の日と同じです。春分の日、昔から春の訪れを祝う日であり、祖先（そせん）に感謝をするお祭りを行なう日でもありました。農村部を中心に長く続いてきたこの風習（ふうしゅう）は、明治時代に宮中（きゅうちゅう）において祖先を祭る日（まつるひ）となったのをきっかけとして、全国的に広がりしました。

春分の日といえば「ぼたもち」。お墓や仏壇に供え、先祖を供養（くよう）した後で食べます。秋分の日に食べる「おはぎ」と同じく、米を炊いてつき、丸めたものをあんこで包んだ和菓子です。厳密（げんみつ）には「ぼたもち」はこしあん、「おはぎ」はつぶあんて包む、という違いがあります。呼び名は、春の花である「牡丹（ぼたん）」に由来しています。おはぎは、秋の花・萩にちなんでいます。

春分の日も、太陽は真東から昇り、真西に沈みます。テレビやラジオでは「昼と夜の長さが同じ日」と紹介され、この日を境に少しずつ昼間の時間が長くなります。

さて、ここでクイズの答えです。

正解は、「前年の2月1日」です。春分の日は国立天文台が作成する「暦象年表（れきしょうねんぴょう）」に基づいて決定され、発表されます。一般の人々は、秋頃から発売される翌年のカレンダーや手帳を見て、春分の日がいつなのかを知ることが多いです。

いかがでしたか？

はじめて知ったことはありましたか。

皆さんの国には、自然をたたえるための特別な日はありますか。

是非、JapanesePod101.comのコメント欄で教えてくださいね。

それでは、また！